

## Ⅱ 市ケ尾高校のキャリア教育

### 1. キャリアとは、キャリア教育とは

既に何度か「キャリア」という言葉を使いましたが、文部科学省は、キャリアという言葉に「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」と定義しています。またキャリアは、「個々人と社会との様々な関わりとその積み重ね」「社会における自己の在り方生き方」という意味で用います。要するに、職業だけでなく、家庭生活、市民生活等のすべての生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動の総和、つまり生き方そのものと言い換えることができます。

そして、社会の激しい変化に流されることなく、各自が直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人、職業人として自立していくことができるように、「自己の在り方生き方について考えさせ、それぞれにふさわしい在り方生き方を実現させるために必要な意欲や態度、諸能力を身に付けさせる教育」、それが「キャリア教育」であり、今求められている教育です。

### 2. 市ケ尾高校のキャリア教育

市ケ尾高校も、「最善のキャリア選択とその実現に向けて」というテーマのもとに、次の2点を目標にキャリア教育を行います。



- ・自ら課題を見つけ自ら学び考える主体的な態度と、創意工夫して問題を解決する力を育成する。
- ・自己を見つめ、現在や将来について真剣に考え、主体的に進路を選択し、その実現を図る態度と力を育成する。

詳細は、巻末の『キャリア教育実践プログラム』を参照してください。市ケ尾高校における3年間の教育活動を通して、どのようなキャリア諸能力を育てるかが示されています。本校では、「総合的な学習の時間」を中心に、各教科の授業、学校行事や部活動など、教育活動全体を通してキャリア教育を実施します。

#### ①「総合的な学習の時間」

個別学習を基本に、生徒の主体的かつ積極的な活動を促し、学習内容に応じて共同で調べたり発表したりするなど、グループでの活動も行います。本校独自の教材プリント、各自の作成する「報告書」をファイルにまとめていくことにより、系統的・多角的に進路希望実現の方法を考え、計画を立て、様々な問題を解決する力を養います。

職業分野別説明会（1年）や大学等訪問（2年）、社会人講話（1、3年）など、外部の人たちとの触れ合いを通して、自己や社会への理解を深めます。分野別進路説明会（2年）など各種説明会を実施し、上級学校などへの理解を深めるとともに、進路希望実現のための手立てを学びます。

## ②各教科・科目の授業及びHR活動等

年間を通して行われる各教科・科目の授業やHR活動等を充実させて、生徒の責任感などを育てていきます。

授業では、学習に対する意欲を引き出し、バランスのとれた確かな、そして進路希望実現のために必要な学力を育成します。そのために、生徒による授業評価を活用して、たえず授業改善を図っていきます。また、授業以外にも、発展的な学習の機会が得られるように、希望者を対象として、平日講習や夏期講習などを実施しています。

HR活動や部活動等においては、周囲とコミュニケーションを図りながらさまざまな困難を乗り越えて課題を達成していく力を養います。

## ③学校行事

さまざまな役割を通して周囲とのコミュニケーション能力や主体性を養う。文化祭・体育祭などでは、計画・準備・実施全般を通して達成感や自己有用感を育てます。

## ④インターンシップ及びボランティア活動

自主的・自発的活動としてのインターンシップやボランティア活動を推進し、生徒の職業観や社会性を養います。単位認定の制度もあります。

この他に、キャリア支援グループでは、一日看護体験、大学のオープンキャンパス等も紹介しています。

本校での3年間、授業をはじめさまざまな活動に積極的に参加してほしいと思います。本気で取り組むことによって、自分の適性や能力が見えてくるし、伸びてもきます。他者と関わる中で、ものの見方も広がってきます。それを、皆さんのキャリア形成に活かしてください。